



平成25年度

第4回みみらんどセミナー

きこえシリーズ②

☆ 実施日時 ☆ 平成25年7月19日(金) 13:00~14:00

☆ テーマ ☆ 「FM補聴システムを知ろう～フォナック社製～」

☆ 講師 ☆ (株)フォナック・ジャパン 鈴木 考 様
ブルーム郡山店 村上 幸雄 様

第4回みみらんどセミナーの概要をご報告します。

子どもは、脳の可塑性の高い「言語敏感期」(1歳半～3歳半)に補聴し、言語獲得の拡張を図ることが重要です。S(聞きたい音: Signal) - N(騒音: Noise) = 「SN比」といい、Sの値を大きくする必要があります。騒音や距離に関係なく、良いSN比を保てるのがFM補聴システムであるといえます。現在は自立支援法により1割負担(¥17,800)で入手することができます。フォナック社製は、送信機に騒音計が組み込まれており、自動でSN比を計測し、周囲の音量を下げてFMマイクからの声を大きくする機能があります。FM補聴システムを利用している児童6000人のうち80%がフォナック社製品を使用しています。室内では15m、屋外だと約60mまで電波が届きます。教師がピンマイクを襟元に着ける時は15cm以内とし、冬場のウィンドブレーカーはカサカサと絹擦れ音が出るので避けます。電波法で認可されたチャンネルは16個ですが、隣の4つまでは交わって干渉するため、フォナックでは初めから6個しか選択できないようにしてあります。複数の教室で使用する際は、2クラス先まで電波が届いていることを考慮し、隣同士は干渉しにくいチャンネルを組み合わせてください。9月には次世代ワイヤレス補聴援助システム「roger(ロジャー)」が発売されます。周波数はIT業界や医療現場で利用されている2.4G(ギガ)Hz帯を利用します。ロジャーは、自動で空いているチャンネルの電波を選択する機能があり、これまでのチャンネル設定や管理が不要です。また一度に受信機20台での受信が可能で、騒音下での聞こえもこれまでよりさらに向上している点も特徴です。値段はこれまでのタイプと同価格です。



参加者からは「実際に聞いてみて便利さが分かった。」「名前を知っているだけだったので勉強になった。」「手帳の級により補助金が異なることや相談窓口は各市町村の福祉課であることが分かった。」などの感想が寄せられました。

